



台湾北部の山あいの町、九份(きゅうぶん)は19世紀末に金の採掘が開始されたことに伴い徐々に発展し、日本統治時代にその最盛期を迎えました。街は、一攫千金を狙う人々の歓楽地として栄えていきました。しかし、第二次世界大戦後に金の採掘量が減り、金鉱が閉山されてからは衰退の一途をたどり、一時人々から忘れられた存在となりました。1990年頃、この村を舞台とした映画により再び脚光を浴び始め、レトロな雰囲気そのまま残された街並みや山と海を見渡せる美しい景色が評判の一大観光地に生まれ変わったのです。日本でも、「千と千尋の神隠し」のモチーフになったと噂されてから、急速に知名度を上げてました。写真左は、100年以上前の日本の採掘会社跡です。(H27.7.18 宮本佳依)

社長の仕事 税理士 大場史郎

人手不足とHP(ホームページ)

最近、顧問先の皆様から、「ハローワークや求人情報誌に募集を出してもさっぱり応募がない。」という声を聞きます。

大企業が好景気になり、また大型のショッピングセンターがオープンしたりして、川下の我々中小企業へは、なかなか応募者が流れて来ないのが現実です。

我々事務職は、土日の週休2日なども確立していて、比較的営業職や現場作業職に比べれば、集まりやすいと言われていました。

この度、パート職員が産休をとること等もあり、ハローワークに求人を出したところいつもと違ってなかなか来ない。

若者が毎年減少している中で、採用を控えていた企業が一齐に募集するものだから、選ばれる側の企業側にとって狭き門である。

そんな中で、届いた履歴書に下記のような文章が書かれていました。

職を求める側に立てば、会社の情報を少しでも多く知りたいと思うのは当然で、そこで必ずと言っていいほどHPをみます。特に若い人は。

東京で店舗を探していた時、家主さんを承諾させた決め手はわが社のHPだったそうです。「ここなら、安心だろう」と思ってもらえたようです。

今後よりHPに磨きをかけようと思いました。

志望の動機、特技、好きな学科など

貴社のホームページを拝見し、各企業様の悩みを一挙に引き受けて対応する企業体制に魅力を感じました。